



平成29年11月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年1月9日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は684.1億円、前年同月比23.3%増、14か月連続のプラス

映像機器、鉄鋼、有機化合物などが増加

船舶類などが減少

輸入額は746.8億円、前年同月比2.0%減、2か月連続のマイナス

銅鉱、揮発油、鉄鉱石などが減少

原油及び粗油などが増加

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	8,794	126.7	12.9	鉄鉱石	16,211	97.6	21.7
鉄鋼	18,319	112.5	26.8	銅鉱	2,790	11.6	3.7
銅及び同合金	6,356	82.0	9.3	石炭	15,438	141.3	20.7
事務用機器	10,880	115.3	15.9	原油及び粗油	17,124	414.4	22.9
映像機器	13,120	2695.2	19.2	揮発油	5,388	91.1	7.2
船舶類	1,983	29.0	2.9	液化天然ガス	8,529	118.4	11.4

港（通関官署）別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

大 分) 輸出は655.7億円、前年同月比25.8%増。映像機器、鉄鋼、有機化合物などが増加
輸入は740.8億円、前年同月比1.9%減。銅鉱、揮発油、鉄鉱石などが減少

佐 伯) 輸出は20.4億円、前年同月比75倍。船舶類、木材が増加
輸入は2.3億円、前年同月比21.2%減。船舶類、鉄鋼などが減少

津久見) 輸出は7.9億円、前年同月比76.4%減。船舶類、セメント、石灰石が減少
輸入は3.8億円、前年同月比9.2%減。石炭が減少

**大分
空港**) 輸出入実績なし

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

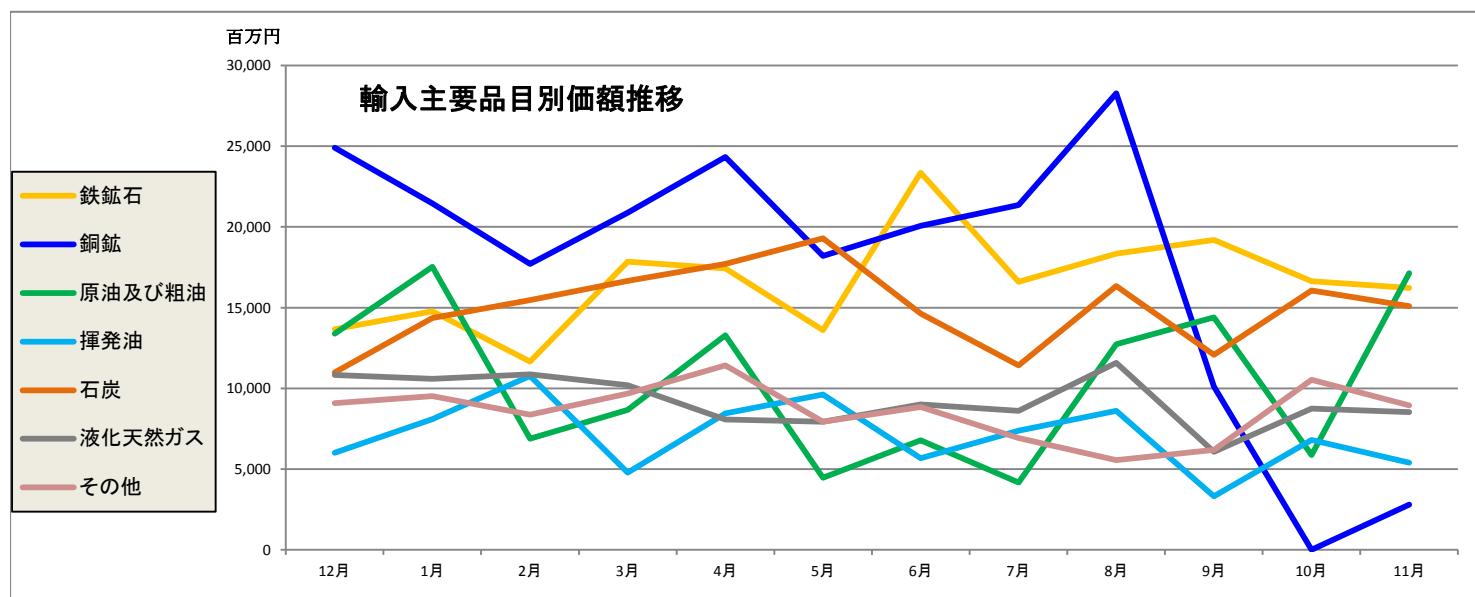
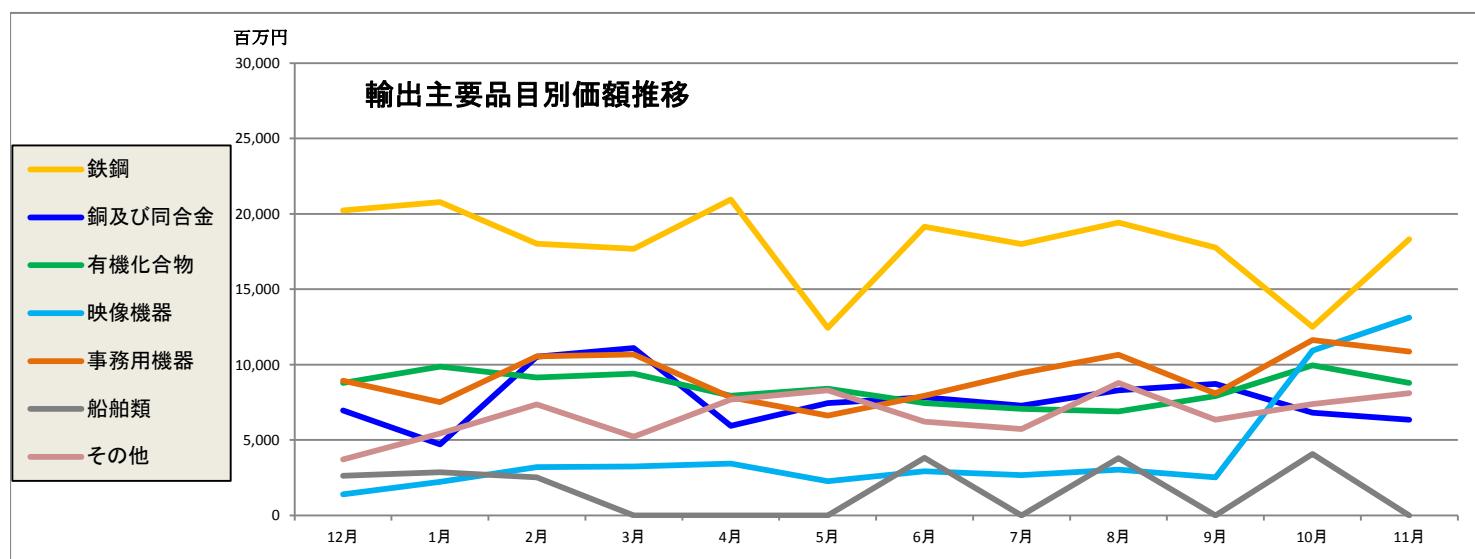
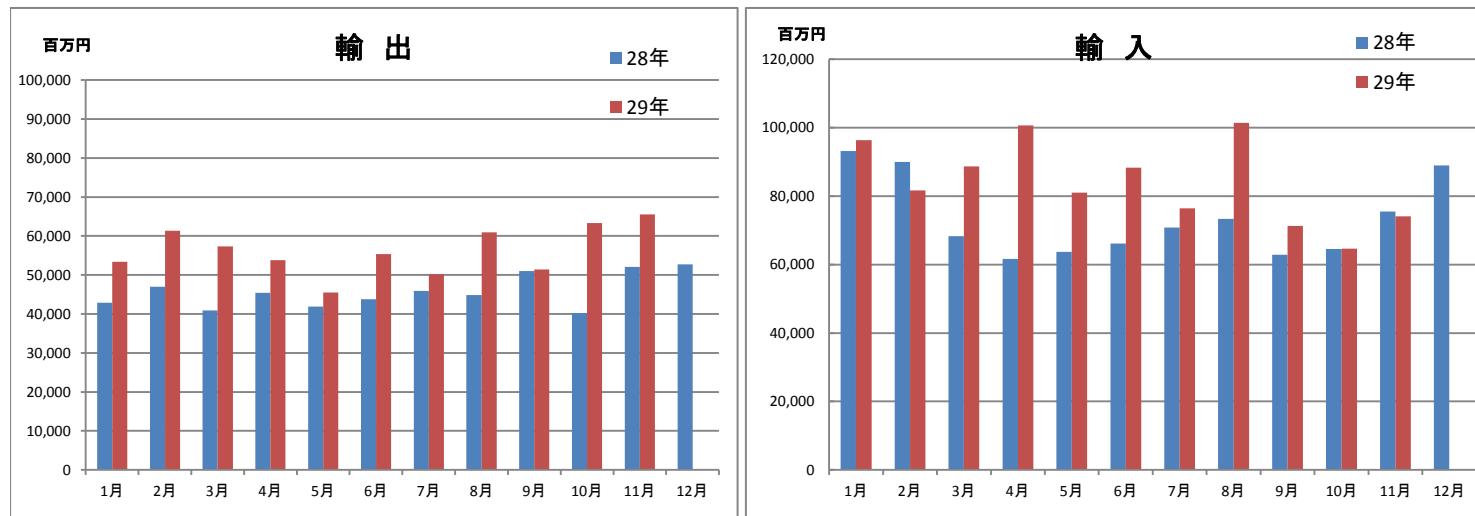
区 分	輸 出			輸 入			差引額	
	価 額	前年同月比		価 額	前年同月比		出・入超	価 額
大 分(大 分)	65,574	125.8	13か月連続のプラス	74,077	98.1	2か月連続のマイナス	入超	8,504
佐 伯(佐 伯)	2,043	7531.3	2か月ぶりのプラス	231	78.8	2か月連続のマイナス	出超	1,813
津久見(津久見)	790	23.6	2か月連続のマイナス	376	90.8	2か月ぶりのマイナス	出超	414
大分空港(大分空港)	-	-		-	-		-	-
大 分 県	68,407	123.3	14か月連続のプラス	74,684	98.0	2か月連続のマイナス	入超	6,277

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>